

9 在庫額(従業者 30 人以上)

* 年末在庫は 7223 億円で、年初と比較すると 585 億円 (8.8%) 増加

(1) 在庫額の推移

平成元年からの推移をみると、年末在庫額は 3 年の 1 兆 3464 億円をピークに減少傾向にある。平成 19 年は年初と比較すると 8.8% 増加したが、ピーク時の 3 年と比較すると 6241 億円 ($\Delta 46.4\%$) の減少となっている。

(図 24、表 4、付表 9)

(2) 産業別の状況

年末在庫を産業別にみると、「情報通信機械」が 1487 億円 (構成比 20.6%) で最も多く、次いで「電気機械」が 1414 億円 (同 19.6%)、「輸送用機械」が 1120 億円 (同 15.5%) となっている。

年初と比較すると、増加額では、「情報通信機械」の 247 億円 (20.0%) が最も大きく、次いで「電気機械」が 180 億円 (14.6%) となっている。減少額では、「化学工業」が 22 億円 ($\Delta 7.6\%$) で最も大きく、次いで「ゴム製品」が 5 億円 ($\Delta 12.3\%$) となっている。

(付表 9)

(3) 在庫率

生産額に占める年末在庫額の割合を示す在庫率は、9.5% で前年より 0.6 ポイント上昇した。産業別にみると、「電気機械」が 20.9%、「家具・装備品」が 19.6% で大きく、「食料品」が 1.7%、「飲料・飼料等」が 2.0%、「印刷・同関連業」が 2.0% で小さい。

(図 25、付表 10)

※ 「在庫率」は、利用上の注意の「2 統計表及び付表の項目の説明(6)②」参照

図 25 産業中分類別在庫率の前年比較(従業者 30 人以上)

